



全社挙げ「社員の幸福度向上」



社内イベントの座談会で社員の幸福度を高めたいと語る竹田社長(中央右)と稲木執行役員(右)

日立ソリューションズ・クリエイトが推進

日立ソリューションズ 各事業部門に幸福度を高めるための取組を推進している。ス・オフィサーを配置した。C H Oは全社運動のほど全社運動の一環で働いていて良かった、幸を推進する執行役員の稲木みゆき業務統括本部長 ショップを実施した。

働きやすい職場に

各事業部門に推進役を配置 現場の声吸い上げ

ど施 なた 会 演 講 実 演 本 演 講

「したい」と話しており、今年度は「社員の幸福度向上」を全社運動として捉え、社内コミュニケーションの向上や働きやすい職場づくりに向けた活動を始めている。今年度から全社運動「Happiness大作戦!!」をスタートし、

ることが主な任務。事業部門ではC H Oの下に「しあわせ係」を置くほか、「しあわせ当番」を決めて全社が一丸となって活動を推進している。



イベントに参加した。

Happiness 組んでいきたい」と話し、講演会では多くの社員が真剣に耳を傾けていた。活動を進める稲木執行役員も「全社規模でケアできるようC H Oを18人置いている。少しでも現場の声を吸い上げて全社で取り組めるようにしたい」と力を込めた。

イベントにはC H Oをはじめ、社員約230人が参加した。講演で丹羽氏は「C H Oの仕事は、パース(存在意義)、オム笑顔になれればと思いいセンシティ(自分らしさ)、リレーションシップ(関係性)、ウエ説明。同社システムある。Happiness(心身の健康)をシニアは顧客先への常駐見いだしていくこと。Cが多いことからいかに組みと今後注目されH Oの条件は、自分がハ全社で参加できるか取りぞうだ。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。